



株式会社ツカモトコーポレーション

2021年3月期 決算（参考資料）

# 連結決算サマリー(概要)

	第101期 自2019年4月1日 至2020年3月31日	第102期 自2020年4月1日 至2021年3月31日	昨年比 増減
売上高(百万円)	17,797	17,849	52 100.30%
営業利益(百万円)	200	188	△11 94.17%
経常利益(百万円)	280	264	△16 94.29%
当期純利益(百万円)	441	146	△295 33.08%
一株当たり 当期純利益(円)	110.94	36.71	△74.23
純資産額(百万円)	11,012	11,830	818
総資産額(百万円)	26,119	27,237	1,118
自己資本比率(%)	42.16%	43.44%	1.28%

# 連結業績のトピックス

## 第102期

①売上高は17,849百万円と前年同期比0.3%増、52百万円の増収となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響による緊急事態宣言の発令を受けて、多くの商業施設が営業を休止したことや、和装事業における催事販売会の中止による販売機会ロスの影響を受けましたが、TV通販、ECでの健康・フィットネス商材の販売が巣ごもり需要の追い風を受け、好調に推移しました。

②コロナ関連の衛生商材、健康・フィットネス商材の販売は好調に推移しましたが、百貨店・専門店での販売がメインとなる、繊維製品をはじめとした既存商材の需要回復は鈍く、営業利益は前年から12百万円減少の、188百万円、経常利益は前年から17百万円減少の264百万円となりました。

③特別利益として、新型コロナウイルス感染拡大の影響による雇用調整助成金の88百万円を、また特別損失として新型コロナウイルス感染症による特別損失が82百万円、固定資産の減損損失が27百万円、組織再編関連費用として27百万円計上しております。結果、当期純利益は前年から295百万円減少の146百万円となりました。

# 連結貸借対照表(簡略版)

(百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	前年比 増減		前連結会計年度	当連結会計年度	前年比 増減
	2020年3月31日	2021年3月31日			2020年3月31日	2021年3月31日	
<b>資産の部</b>	26,119	27,237	1,118	<b>負債の部</b>	15,106	15,406	300
流動資産	7,873	8,024	150	流動負債	8,980	9,167	186
現金預金	1,417	2,359	942	支払手形及び買掛金	2,333	1,930	△403
受取手形及び売掛金	3,221	2,477	△744	電子記録債務	986	1,024	37
電子記録債権	33	52	19	短期借入金	5,087	5,573	485
たな卸資産	2,794	2,381	△412	その他	573	640	66
その他	407	753	346	固定負債	6,125	6,239	113
固定資産	18,245	19,212	967	長期借入金	3,331	3,230	△101
有形固定資産	13,317	13,234	△83	繰延税金負債	1,760	2,010	249
建物及び構築物(純額)	2,599	2,513	△85	その他	1,033	998	△35
土地	10,581	10,562	△18	<b>純資産の部</b>	11,012	11,830	818
リース資産(純額)	1	0	△1	株主資本	10,762	10,749	△13
その他(純額)	135	157	22	資本金	2,829	2,829	-
無形固定資産	120	95	△25	資本剰余金	709	709	-
投資その他の資産	4,807	5,882	1,075	利益剰余金	7,328	7,315	△13
投資有価証券	2,723	3,548	805	自己株式	△104	△105	0
その他	2,083	2,334	250	その他の包括利益累計額	249	1,081	831
				その他有価証券評価差額金	316	927	611
				その他	△66	153	219
<b>資産の部</b>	26,119	27,237	1,118	<b>負債純資産合計</b>	26,119	27,237	1,118

# 連結損益及び包括利益計算書(簡略版)

(百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	昨年比 増減
	自2019年4月1日 至2020年3月31日	自2020年4月1日 至2021年3月31日	
売上高	17,797	17,849	52
売上原価	12,390	12,723	333
売上総利益	5,406	5,125	△ 280
販売費及び一般管理費	5,241	4,944	△ 296
営業利益	200	188	△ 11
営業外収益	229	197	△ 31
営業外費用	148	121	△ 27
経常利益	280	264	△ 16
特別利益	-	88	88
雇用調整助成金	-	88	88
特別損失	196	137	△ 59
減損損失	84	27	△ 56
投資有価証券評価損	72	-	△ 72
組織再編関連費用	40	27	△ 13
新型コロナウイルス感染症による損失	-	82	82
税金等調整前当期純利益	83	215	131
法人税、住民税及び事業税	37	58	20
法人税等調整額	△ 395	10	406
親会社株主に帰属する当期純利益	441	146	△ 295
包括利益	△ 173	977	1,151

# 連結キャッシュ・フロー計算書(簡略版)

(百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	自2019年4月1日 至2020年3月31日	自2020年4月1日 至2021年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	<i>△648</i>	<i>894</i>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<i>△187</i>	<i>△157</i>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<i>△168</i>	<i>205</i>
現金及び現金同等物の期首残高	<i>2,411</i>	<i>1,407</i>
現金及び現金同等物の期末残高	<i>1,407</i>	<i>2,349</i>

# セグメント情報

(百万円)

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	和装	洋装	ホーム ファニッシング	健康・生活	建物の賃貸	計
セグメント売上高計	1,866	7,625	3,494	3,943	1,043	17,974
セグメント利益又は損失	△ 277	63	△ 48	49	612	401
昨年比売上増減	△ 931	596	△ 335	696	35	61
昨年比利益又は損失増減	△ 116	△ 30	△ 80	137	67	△ 23

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	和装	洋装	ホーム ファニッシング	健康・生活	建物の賃貸	計
セグメント売上高計	2,797	7,029	3,829	3,247	1,008	17,913
セグメント利益又は損失	△ 160	94	32	△ 87	545	424

# セグメントの現況

## 和装事業

催事の中止、延期の影響が甚大

- 新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言の発令を受け、予定していた催事が軒並み中止・延期、年末に発生したコロナウイルス第3波の影響も強く受けた結果、大幅な減収減益となりました。売上高は前年同期比33.3%減の1,866百万円、営業利益は△277百万円となり、前期と比べ、117百万円の減益となりました。

	101期(R2.3月期)	102期(R3.3月期)	前年同期比
売上高	2,797百万円	1,866百万円	33.30%減
総利益	1,154百万円	722百万円	37.50%減
販売費及び一般管理費	1,315百万円	999百万円	24.10%減
営業利益	△160百万円	△277百万円	117百万円減

# セグメントの現況

## 洋装事業

感染拡大の影響による販売機会ロスも衛生商材が好調

- メンズ、レディス・OEM事業は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、商業施設の営業自粛による販売機会ロスがあったことや下期以降も店頭での需要回復が伸び悩んだことで減収となりました。またユニフォーム事業は企業・官公庁向けの衛生商材が好調に推移し増収となりましたが、大型案件の納品対応により昨年より物流費が増加しました。洋装事業としましては、売上高は前期比8.5%増の7,625百万円となりましたが、営業利益は前期と比べ31百万円減の63百万円となりました。

	101期(R2.3月期)	102期(R3.3月期)	前年同期比
売上高	7,029百万円	7,625百万円	8.5%増
総利益	1,210百万円	1,212百万円	0.1%増
販売費及び一般管理費	1,116百万円	1,148百万円	2.9%増
営業利益	94百万円	63百万円	31百万円減

# セグメントの現況

ホームファニシング事業 営業自粛も店舗形態の変更で

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による緊急事態宣言の発令を受け、百貨店、アウトレット店が営業を自粛したことで第1四半期は大幅な減収減益となりました。第1四半期に横浜にアウトレット店の新店をオープン、直営店の期間限定店舗の運営や百貨店の店舗形態変更による効率化を図る等巻き返しを図りましたが、売上高は前年同期比8.8%減の3,494百万円、営業利益は80百万円減の△48百万円となりました。

	101期(R2.3月期)	102期(R3.3月期)	前年同期比
売上高	3,829百万円	3,494百万円	8.8%減
総利益	1,907百万円	1,743百万円	8.6%減
販売費及び一般管理費	1,875百万円	1,791百万円	4.5%減
営業利益	32百万円	△48百万円	80百万円減

# セグメントの現況

健康・生活事業 巣籠もり需要に応える

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、GMS・家電量販店等店頭での販売は苦戦しましたが、TV通販・ECサイト上においては、浄水器や消毒液噴霧器等衛生商材が好調に推移しました。また、マッサージ座椅子、エクササイズマシン、振動ボード等の健康・フィットネス機器がコロナ禍での健康意識の高まりに応えたことで、売上高は前年同期比21.4%増の3,943百万円、営業利益は137百万円増の49百万円と、大幅に改善し黒字となりました。

	101期(R2.3月期)	102期(R3.3月期)	前年同期比
売上高	3,247百万円	3,943百万円	21.4%増
総利益	621百万円	866百万円	39.4%増
販売費及び一般管理費	709百万円	817百万円	15.1%増
営業利益	△87百万円	49百万円	137百万円増

# セグメント(基幹事業)の傾向

(百万円)

		2018年度	前年比	2019年度	前年比	2020年度	前年比
和装事業	売上高	3,327	80.4%	2,797	84.1%	1,866	66.7%
	セグメント利益	△108	△146	△160	△52	△277	△116
洋装事業	売上高	7,989	102.9%	7,029	88.0%	7,625	108.5%
	セグメント利益	215	145	94	△120	63	△30
ホームファニシング事業	売上高	4,079	91.4%	3,829	93.9%	3,494	91.2%
	セグメント利益	△33	210	32	△65	△48	△80
健康・生活事業	売上高	3,128	106.3%	3,247	103.8%	3,943	121.4%
	セグメント利益	78	48	△87	△165	49	137
建物質貸業	売上高	944	99.2%	1,008	92.0%	1,043	103.6%
	セグメント利益	521	△55	545	23	612	67
全社	売上高	19,469	96.1%	17,913	92.0%	17,974	100.3%
	営業利益	673	202	424	△248	401	△23

# 19-21中期経営計画 基本方針の進捗

## START UP ! NEW TSUKAMOTO

### これからの新しいツカモト

新型コロナウイルスの感染拡大により洋装事業におけるメンズ事業、レディス・OEM事業、ホームファニッシング事業、和装事業は業績が下方に乖離する一方、洋装事業におけるユニフォーム事業、健康・生活事業は生活習慣の変化やニーズの変化に対応して業績が好調に推移

\*\*\*

## 21年度 営業本部基本方針

\*\*\*

新規事業領域の  
開発

洋装事業	環境商材・SP商材の開発、EC販売
健康・生活	メディアミクス戦略の実践、海外販売の拡大
ホームファニッシング事業	SC新規出店、海外輸出
和装事業	新規商材・新販路・小売開発部門チームの新設

業務の効率化

物流の効率化、ムリ・ムダ・ムラの削減

在庫の効率化

月次管理を徹底し、資金効率を向上

業務改革 意識改革 風土改革を推進し、活力のある集団として働きがいのある会社となって企業価値の向上を目指します。

# 連結業績予想

(百万円)

	第2四半期累計		通期	
	業績予想	昨年比	業績予想	昨年比
売上高	7,500	87.8%	17,000	95.2%
営業利益	0	—	200	105.9%
経常利益	0	—	300	113.3%
当期純利益	0	—	200	136.8%